

事業番号	事務事業名	資源回収ストックヤード施設整備補助金	所管課名	くらし安全課	令和 3 年度課長名	小原 克則
02463	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	環境係	担当者・シート作成者	根本 瑞樹
	施策名	44 循環型社会の形成	根拠法令等	鏡野町資源ごみ集団回収ストックヤード新設要綱 鏡野町資源ごみ集団回収ストックヤード施設整備費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町資源ごみ集団回収推進団体奨励金交付要綱第4条第2項に基づく登録団体が行う資源ごみ集団回収の一時保管場所の整備について補助を行う。登録団体の申請により補助金交付申請を行っていただき、鏡野町が適当であると認めた場合、交付決定通知を行い、事業完了後、完了届を提出していただき、担当者が現地確認を行い申請どおりであることを確認した後、補助金の確定通知を行い、補助金を交付する。	ごみの減量化と再資源化を図るために鏡野町の登録を受けた団体が、資源ごみの仮置き場を整備するために平成27年度より運用された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込 実績	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970 12,497	11,843	11,693
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア ごみの減量化意識高揚	ア ゴミ減量化・リサイクルに取り組んでいる町民の割合	%	目標 実績 達成率	83 73 87.8%	84 79 94.5%	74 73 98.6%	75	75 97.3%
イ ごみの排出量の軽減	イ 集団回収・店頭回収を活用している割合	%	目標 実績 達成率		75 78 104.1%	80 73 91.1%	80	80 91.1%
ウ	ウ 津山圏域クリーンセンターへのごみ搬入量(可燃、ビン、缶、ペットボトル、古紙の委託及び個人、許可(個人))	t	目標 実績 達成率	1,900 1,957 103.0%	1,900 1,983 104.4%	1,900 1,958 103.1%	1,900	1,900 103.1%

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 補助金交付事務	ア 現地確認回数	回	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 補助金交付件数	件	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		04 項		02 目		01 大事業		中事業		予算上の事業名					事業番号									
	一般会計		衛生費		清掃費		清掃総務費		02 04		資源回収ストックヤード施設整備補助金					02463									
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比												
国庫支出金							国庫支出金																		
県支出金							県支出金																		
町債							町債																		
その他特財	300	300	300	300	300		その他特財	0	207		300	300	-207												
一般財源	0	0	0	0	0		一般財源	0	0	164	0	0	164												
合計	300	300	300	300	300		合計(A)		207	164	300	300	-43												
財源名称	清掃費雑入 ごみ袋代						従事正職員人数	1	1	1	1	1													
							延べ業務事務時間	0	6	6	6	6													
							人件費計(千円)(B)		20	20	21	21	0												
	最終予算額		300 千円		予算執行率	54.6%	トータルコスト(A+B)		227	184	321	321	-43												
主な支出事業内容(予算)	補助金						300 千円						主な支出事業内容(決算)	補助金						164 千円					

事業番号	02463	事務事業名	資源回収ストックヤード施設整備補助金	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	--------------------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新たに施設整備を行う団体もあるが、既存の施設をこの事務事業で修繕、改築して使う団体がある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
広報紙で登録団体を募集。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
「続けてほしい。」等の意見がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 循環型社会の形成を行うにあたり、地域の方が資源ごみを回収し、集積する場所の確保は必要である。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> ごみの減量化、資源化に直結する事業である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 資源ごみの回収及び集積する場所を確保するための施設整備である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 環境衛生委員会総会等にてこの事務事業について周知しているが、ごみの減量化・再資源化に取り組む団体の増加及び支援を図るため、広く周知を行う必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 資源ごみの回収場所の確保に寄与し、回収場所の衛生面、景観面からも適正でない。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 源ごみの回収場所の確保に寄与しており、必要な補助事業である。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 通常の維持管理は、資源ごみを回収する各地域の登録団体において行っている。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 職員1名が他業務と兼任で行っている。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町内すべてが対象である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	登録団体は、全体的に増減はない状態だが、当補助金の交付申請は伸びていない。しかしながら循環型社会を形成する一つの手法として必要な補助事業である																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 新規登録団体の獲得のため、周知啓発を行い、循環型社会形成に向け事業を進める。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
古紙類の引き取り単価が下がっている。また、古布、びんの引き取りが行われてない事例があり、集団回収奨励金で、補填することができれば、新規登録団体の獲得、既登録団体の奮起につながり、ストックヤード施設の設置要望が増えるのではないかと考える。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							